

## 多施設共同研究による、好酸球性筋膜炎の実態調査

研究分担者	山本俊幸	福島県立医科大学医学部皮膚科	教授
研究分担者	浅野善英	東京大学医学部附属病院皮膚科	准教授
研究分担者	石川 治	群馬大学大学院医学系研究科皮膚科学	教授
研究分担者	神人正寿	和歌山県立医科大学医学部皮膚科学	教授
研究分担者	竹原和彦	金沢大学医薬保健研究域医学系皮膚分子病態学	教授
研究分担者	長谷川稔	福井大学医学部感覚運動医学講座皮膚科学	教授
研究分担者	藤本 学	大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学皮膚科学	教授
研究分担者	牧野貴充	熊本大学医学部附属病院皮膚科・形成再建科	講師
協力者	佐藤伸一	東京大学医学部附属病院皮膚科	教授
協力者	沖山奈緒子	筑波大学医学医療系皮膚科	講師
研究代表者	尹 浩信	熊本大学大学院生命科学研究部皮膚病態治療再建学分野	教授

### 研究要旨

本邦での好酸球性筋膜炎の実態を8施設で調査した。過去3年間で、計22症例を集計した結果、患者の平均年齢は52歳、男女比は2.1:1で男性に多い傾向を認めた。発症の契機や職業は、過度の運動負荷との因果関係がはっきりしない症例も多かった。モルフェアの合併は5例(22%)にみられた。悪性腫瘍の合併は2症例にみられた。採血上の免疫異常は、抗IgG血症が6例に、抗核抗体陽性が4例にみられた。治療は、21例で副腎皮質ステロイド薬内服が用いられ、ステロイドパルス療法も4例に施行されていた。免疫抑制薬はメトトレキサートが4例に使用されていた。

### A. 研究目的

本邦における好酸球性筋膜炎の疫学的なデータはない。本疾患は比較的稀な疾患であるため、1施設で多数例を経験することは少ない。そこで今回、本疾患の実態を把握する目的で、厚生労働省の強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究班に参加施設の皮膚科（熊本大学、東京大学、金沢大学、福井大学、筑波大学、群馬大学、和歌山県立医科大学、福島県立医

科大学)を対象として、2015年～2017年に経験した好酸球性筋膜炎の簡易調査を実施した。

### B. 研究方法

倫理委員会での承認を得たのち、調査票に記入を依頼した。調査項目は以下のとおりである。

1. 年齢
2. 性別
3. 本邦の診断基準を満たすか

4. 発症の契機
5. 仕事
6. モルフェアの合併
7. 他の合併症
8. 免疫異常[抗核抗体, RF, 高 IgG 血症, その他]
9. 治療

### C. 研究結果

1. 年齢は 18 歳から 72 歳まで分布してみられ、平均年齢は 52.0 歳であった。
2. 性別は、男性 15 例、女性 7 例で、男女比は 2.1:1 と男性に多い傾向がみられた。
3. 本邦の診断基準は全例において、満たしていた。
4. 発症の契機は 9 例においてみられたが、13 例は無しまたは不明であった (表 1)。
5. 仕事は、身体的な負荷がかかるものは 5 例のみであった (表 2)。
6. モルフェアの合併は 5 例 (22.7%) にみられた。
7. 他の合併症は、高血圧症が 4 例と最も多く、糖尿病も 3 例にみられた。悪性腫瘍の合併は 2 例 (胆管がん、悪性リンパ腫、各 1) にみられた (表 3)。
8. 免疫異常は、抗 IgG 血症が 6 例に、抗核抗体陽性が 4 例にみられた (表 4)。
9. 治療は、自然軽快した 1 例を除く 21 例で副腎皮質ステロイド薬の内服が用いられていた。

メチルプレドニゾンパルス療法も 4 例に施行されていた。免疫抑制薬はメトトレキサートが 4 例に使用されていた (表 5)。

### D. 考察

本邦においても好酸球性筋膜炎は比較的稀な疾患である。若年成人から高齢者までみられ、男性に多い傾向を認めた。本疾患は、過度の運動負荷によって誘発されることが知られているが、発症の契機は不明の方がむしろ多かった。治療は副腎皮質ステロイド薬が第一選択で用いられていたが、ステロイドパルス療法まで要する重症例もみられた。

### E. 結論

好酸球性筋膜炎は本邦においても稀な疾患であり、その頻度についての疫学的な検討が今後必要と思われる。

### G. 研究発表

- |         |    |
|---------|----|
| 1. 論文発表 | なし |
| 2. 学会発表 | なし |

### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

- |           |    |
|-----------|----|
| 1. 特許取得   | なし |
| 2. 実用新案登録 | なし |
| 3. その他    | なし |

表 1 発症の契機

表1

筋肉トレーニング	2
卓球の試合	1
テニス	1
植木の剪定	1
長時間の正座	1
長時間の歩行	1
過度な労作	1
力仕事をする仕事への転職	1
無し	9
不明	4

表 2 職業

表2

力仕事	格闘家	1
	消防士	1
	テニスインストラクター	1
	家電販売・修理	1
	部品製造	1
その他	会社員	2
	主婦	1
	学生	2
	無職	3
	飲食業	1
	営業	1
不明		7

表3 皮膚以外の合併症

表3

<b>胆管がん</b>	<b>1</b>
悪性リンパ腫	1
下肢静脈瘤	1
糖尿病	3
高脂血症	1
高血圧症	4
心房細動	1
胃潰瘍	1
不明	1
無し	13

表4 免疫異常

表4

<b>抗核抗体陽性</b>	<b>4</b>
抗SS-A抗体陽性	1
抗RNA polymerase III抗体陽性	1
リウマチ因子陽性	1
高IgG血症	6
sIL-2R上昇	1

表 5 治療

表5

副腎皮質ステロイド薬	
内服	21
パルス	4
免疫抑制剤	
MTX	4
シクロスポリン	1
その他	
Infliximab	1
原疾患に対するCHOP療法	1
自然軽快	1